

令和7年度 第2回丸亀市産業振興推進会議 全体会議 (会議録)	
日 時	令和8年2月17日(火) 午前10時30分～午後0時
場 所	マルタス2階 ROOM3.4
	<p>(丸亀市産業振興推進会議 委員) 22名中、14名出席  荒川委員、梶谷委員、小山会長、杉尾副会長、鈴木委員、筒井委員、  西川委員、檜垣委員、藤井委員、古沢委員、松永委員、  真鍋委員、矢野委員、山本委員 (五十音順)</p>
	<p>(丸亀市産業生活部)  平尾部長  (丸亀市産業生活部 産業観光課)  徳田課長、逢坂副課長、村山商工労政担当長、本田観光交流担当長、  請川主任、和泉主事、三附主事  (丸亀市産業生活部 農林水産課)  造田農政担当長、久保水産林務担当長  (丸亀市農業委員会)  山田次長  (丸亀市協働推進部まなび文化課)  廣瀬文化振興担当長</p>
欠席者	綾野委員、今村委員、内海委員、川田委員、柴田委員、豊島委員、 馬場委員、福田委員 (五十音順)
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 挨拶 (小山会長)</li> <li>2. 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)第三次産業振興計画実施計画の中間実績について</li> <li>(2)その他</li> </ol> </li> <li>3. 周知事項等</li> <li>4. 挨拶 (平尾部長)</li> </ol>

## 会 議 の 概 要

### 1. 挨拶

丸亀市産業振興推進会議委員、小山会長より挨拶。

(事務局)

本日の進行と資料の確認。

ここからは小山会長に議事進行をお願いしたい。

### 2. 議事

#### (1) 第三次産業振興計画実施計画の中間実績について

(小山会長)

それでは、事務局より説明をお願いしたい。

(事務局)

配布している資料1、第三次産業振興計画実施計画の修正内容等の説明。

(小山会長)

今から各部会でご審議いただきたい。

審議後は各部会長よりご報告をお願いしたい。

【各委員、各部会に分かれる】

【各専門部会で意見交換・発表】

(農業・水産業部会、松永委員)

全体の報告があった中で順番に申しますと、後継者・担い手の育成の項目の1-1-3の集落営農や法人設立について去年1法人の設立実績があったが、今年は未定となっている。1-1-4について、令和6年から県で新たに補助制度ができ、新規就農者を対象にした多様な担い手の支援を行うものとなっている。過去の計画の中では農地機構から借り入れた場合の補助があるということ項目に挙げているが、今後はこれと併せて計画を2段書きにして新たな多様な担い手への支援の中で丸亀市において多様な担い手を何人認定するのか、人数を目標に挙げてはどうかと思う。令和6年度は実績、令和7年度と令和8年度以降は見込みとして計画に盛り込んでみてはどうかということを申し上げた。香川県のような小さな県では大きな法人の立上げよりも、このような多様な農業人材の方が中心となってくるかもしれないため、計画の中にそのような

項目も持つべきではないかということも申し上げた。生活環境の適正化については、有害鳥獣等被害対策において2024年は895頭を捕獲していたが、今の中間実績では減っている。これについて聞くと、広島で令和5年度・6年度の集中捕獲事業で大量に捕獲したことで減っていると説明があった。漁業関連の話の中で、稚魚放流環境の保全の項目の中で、2024年度の実績はキジハタが約12,000尾いたが、2025年度の中間実績では稚魚が育たなかったため実績はなかった。その代わりに、ヒラメを昨年度より増やしている。また、省力化・機械化等に係る産学連携の促進については、学の連携とはどこがあるのか、今後連携の促進を図っていかなければならないのではないかという話になった。また、体験機会の拡充の中の食農教育を通じた啓発活動の促進について、親子料理教室の実施は今まで実績がなかったが、地元の生活研究グループや学校と連携しながら子供会等とともに取り組んでいけたらいいのではないかと申し上げた。1・2・1の遊休農地の活用について、これは実際は大きな問題であると思うが、この遊休農地の管理をどうするのか、なかなか増えていく中で十分な対応が出来ていないのが現状である。段々高齢化によって農地を耕せないため、その際に誰か預かってくれないかという話が出てくるが、法人も手一杯であり耕やしやすいところしか預かってくれず、計画以上に遊休農地が増えてくるのではないかと危惧している。そういうところが今後の検討課題ではないかと思う。

(工業・地場伝統産業部会、筒井委員)

我々の部会では、まずこれまでこのような形態を続けてきた中で最終的に丸亀市全体の産業について話し合う時間と場所が非常にタイトではないのか、このように部会に分かれて年2回話をして詳しいところまで話が出るのかという意見も出た。今後そういう方向に向けて話をしていこうと、今日は試験的にどんな意見が出てくるのかということで話をした。その中で各項目で分けていただいている部分については、中間報告として我々は理解をし、それを今後行政の方でまとめて、最終的な年度結果をお持ちするという事について我々は同意をした。その後、地場伝統産業だけでなく、丸亀市全体的に何に苦しんでいるのか、という話になり人材確保が難しいという話が出た。何故そうなるのかという話をしていく中で、丸亀にある企業のPRが少し弱いのではないかと、子供達、学生達は何を望んでいるのかということについて、ここにいらっしゃる委員の方は組織を代表した皆さんですので情報を持たれている中で意見交換を行った。今後こういう話を続けていくことによって、行政側もこんな方法を立ち上げることができると、それをこの部会や全体会でご報告いただき、それについて審議委員が意見を重ねていくという会議になればいいなという話になった。

(商業・サービス業・観光産業部会、西川委員)

全体の説明に対する質疑の中で、商店街の問題が色々な形で出てきた。またもう1つ観光に関して言うと、瀬戸芸があった時と無い時の落差をどう見ていくのか、可視化をどうやっていくのかという話も出た。そういう意味では非常に活発な質疑があったと思う。それから、他の部会との絡みも出てくるが、先程筒井委員からも言われたとおり、全体会の中で出てくる部分もあると思う。今報告を聞きながら、後継者や人手不足の問題が農業や工業部会で出てきたが、これって部会関係なく全部の問題である。1番最初にこのように大きく分けた時に、各部会で何が問題なのかと言った時に1番皆さんが手を挙げたのは人手不足の問題。その中で1番強いところをメインに持っていくと話をした。全体のテーマと個々にやってくるテーマ、自分も1番最後にここで話をしたが、部会としての話し合いは活発で非常に良かったが、結局この審議会って何なのか、丸亀市の補助金はこの審議会が出来てから創設されたが、当初は変更がある際は、このように変えようと思っている、と行政側からの意向がほとんど入っているが、問い掛けがあり、それを承認しながら改定していくということがあったが、それが全く無しに改定・実施という形になってしまっているのは少し気になる。

また、その話から出てきたのが、2011年にこの計画ができ、2012年度から始まり、担当者までつけていただき、市内事業所の聞き取り調査をしていただいたが、何回お願いしてもその報告をもらえない。14年もやってきたら1回以上訪問してるはず。今後は商工会議所等にお任せしながらやっていくということだが、その報告なしにということは何かと言うと、この条例が始まった時の市の力と人口や出荷額も含めながら、今とどうなのかの比較なしに、ただ事業やっています、出来ましたというだけでなく、先程話したとおり、専門部会に分けているが、現実色々な関連がある部分であるので、筒井委員も話されたとおり、全体会の中での情報のやり取りや全体を見ながらの時間を取って欲しいと思う。個人的に言うと、全体会は年2回だが、専門部会はそれぞれに2、3回しても良いのではないかと、その方が深堀りもできると思うし、そこでの問題も全体会のテーブルに挙げることもできるので、もう少しやり方も含め考えていったら良いのではないかと、これは専門部会の中では言えず、私個人の考えではあるが、専門部会をせっかく作っていただいているのでその深堀りとその反映ができる全体会という形に上手く持っていけないといけない。1時間の説明と質疑だけで終わってしまい、非常に勿体ない状況になっていると思う。ただ時間的にタイトであったり、色々条件があると思う。皆が出席してくれなかったらどうしようかと思うかもしれないけれど、100%揃う必要なんてないと思うし、今まで10年以上してきた中で100%出席できたのはコロナの際にウェブを使ってした時だけである。それ以外、100%出席はなく1人2人欠席となっている。年2回の全体会は企業という総会と一緒に非常に重き会であり、それはそれで必要あるが、分科会は深堀りするものでもっと細かくやっていただけたらと思う。

全体の動かし、運営をもう少し皆さん頭に置きながら、行政の方にもお願いしたいが、我々もこれを受けた時に、ただ時間があるか無いかの話ではなく、審議委員を受けた時のことを思ったら、それだけの責任を持って審議委員になったんだと思いながら、特に今日参加していただいている方はその責任を持ちながら参加いただいていると思うが、そのような形で振興していってもらえると非常に有り難いと思った。

(小山会長)

非常に貴重なご意見をいただいたと思う。特に産業振興推進計画の策定がない年については、産業振興推進会議の全体会を年2回の実施ということで、今までこの間、コロナも経て運営してきたが、ご意見を頂戴すると、丸亀市の全体像について1回全体会で意見や自由な討論をしなければいけない、そのような場が必要でないかと思った。やはり時代が流れているため、現状丸亀市がどうなっているのか、どういう事業所数になっているのか、外国人労働者がどれだけ入っているのか、そのような基本的な市の情報について共有する場も必要ではないのかと思う。それを踏まえた上で、中間報告や最終報告をしていくこと、また専門部会で話をさせていただく、回想的な場で議論を深めていただくことが必要ではないのかとも思った。また、これに絡んで今動いている産業振興実施計画について、そろそろ来年度以降、新計画策定に向けて動き出さなければいけない時期には来ている。そうすると自ずと回数を増やして、まず全体で丸亀市の大きな問題・課題に向けて議論した上で、その中で課題を抽出し、それを解決に向けてどうすれば良いのかという施策を揉んでいく、あるいは、丸亀市の経済全体について議論を深める、そして次期産業振興実施計画の策定に向けた足掛かりにしていくということは来年度以降も必要になってくるのではないかと思う。新たな議論の場というのは、私自身もしなくてははいけないかなと思った。非常に貴重なご意見をいただいたと思うし、今後の大きな検討課題になると思った。

(2) その他

意見等なし

### 3.周知事項等

(事務局)

- ・議事録作成と送付の案内。

### 4.挨拶

丸亀市産業生活部 平尾部長より挨拶。

午後0時閉会

(以上)